

魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議
宇都宮市教育委員会生涯学習課

1 平成 23 年度「魅力ある学校づくり地域協議会情報交換会及びパネルディスカッション」の報告について

- ・ 標記研修会（宇都宮市教育委員会学校教育課主催）が、平成 24 年 2 月 3 日（金）に市役所 14 階大会議室で、107 名の関係者（地域協議会会長、地域コーディネーター、学校関係者等）の参加を得て開催されました。
- ・ この情報交換会の目的は、平成 24 年度から全市展開される「小中一貫教育」と「地域学校園」を見据え、地域協議会による取組の情報共有を図ることにより、地域学校園内の地域協議会の相互理解と連携を深め、地域協議会が果たす役割を確認することです。
- ・ 当日参加された皆様には、研修会を振り返るキッカケとして、また、当日参加できなかった皆様には、今後の活動の参考として、研修会の概要をお知らせします。

第 1 部 パネルディスカッション

「魅力ある学校づくり地域協議会による地域学校園の取組について」

コーディネーター 宇都宮大学生涯学習教育研究センター 副センター長（教授） 廣瀬 隆人 先生

パネラー 宇都宮市立石井小学校 副校長 渡邊 誠 先生

” 宇都宮市立陽東中学校 教諭 吉原 雄一 先生

- 吉原先生からは、地域学校園の中核を担う中学校の小中一貫教育推進主任の立場から、陽東地域学校園で取り組んできた事例を基に所感を紹介いただきました。
- ・ 小中学校教諭の合同研修は、お互いに知らない教諭同士の顔合わせを行うため、非常に有効であった。
- ・ 中学校教諭の小学校訪問では、小学校の実態を知り、初めて気付かされることが多かった。
- 例)・小学校の生活と中学校の生活との違いを目の当たりにし、中一ギャップの原因の一つを感じたこと。
- ・ 小学校教諭は学級担任制であるため、登校時から下校時まで子どもたちに寄り添い、校務の時間確保が厳しいこと。など
- ・ 中学校教諭の場合、今まで授業の中で地域の教育力を生かしていくことの有意を深く考えることはなかった。地域学校園で連携した結果、小学校のボランティアが中学校にも関わってもらえるようになり、子どもたちが地域の大人とナナメの関係の中で、いつもと違う表情を見せてくれることに、中学校でのボランティア活動の重要性を再認識した。
- 渡邊先生からは、地域学校園を構成する小学校の副校長の立場から、モデル地域学校園での取組の成果に対する所感を紹介いただきました。
- ・ 小学校教諭の中学校訪問では、小学校卒業後の子どもたちが着実に成長している様子を見ることができて安心し、更には、自らのモチベーションの向上につながった。



- ・地域住民は、小学校のほうがより身近な存在と感じている方が多く、学校支援ボランティアも小学校のほうが入りやすいし、受け入れやすい。地域学校園内の小中学校と地域が連携して行う「あいさつ運動」などを通して、中学校にも関心が向くようになった。
- ・小学校と中学校では、成長段階や学習内容の違いにより、学校支援ボランティアに求められていることも変わってくる。

○ 廣瀬先生からは、お二人の話を受けて、陽東中学校地域協議会会長、また、学識経験者の立場から、モデル地域学校園での取組の成果に対する所感をまとめていただきました。



- ・中学校では、地域との連携が希薄な傾向があるが、地域学校園協議会を通して、小中学校で学校支援ボランティアの情報や活動を共有できると、中学校の学校支援活動も活性化できるので、小学校での活動を中学校にも広げてもらいたい。
- ・新規の連携事業は、まずは各々の事業を同日に開催したり、年に1回だけ合同で開催したりするなど、無理して進めるのではなく出来ることから始めると、活動を継続できる。

- ・地域協議会で行う学校評価は、単純に評価して公開しておしまいでは「もったいない」。特に、中学校の学校評価でのマイナス評価は、中学校のみに原因を求めるのではなく、小学校にも原因をもとめるべきであり、また、その項目こそが、地域の課題であり、家庭の課題であり、小中合同で取り組むべき学校支援活動と捉えるべき。学校評価には、学校支援活動の「ヒント」が多く詰まっている。

第2部 行政説明（宇都宮市教育委員会事務局教育企画課 山越雄介主任主事）

「地域はみんなの学校」に向けた地域学校園の推進について

- ・地域協議会が連携して取り組む地域学校園協議会の仕組みについて、説明がありました。

第3部 情報交換（地域学校園ごとにグループに分かれて話し合い）

○グループごとに活発な意見交換を行い大きな成果を得られました。その一部を紹介します。

- ・地域学校園協議会の開催時期や開催方法を話し合うことができ、2回目の会議を合同で開催することになった。
- ・来年度から、地域学校園内の地域行事と学校行事、ボランティア活動等を一緒に掲載した「地域学校園カレンダー」を作成したい。
- ・連携して一緒に事業実施するよりも、お互いを知ることや無理なくできることから始めたい。
- ・地域学校園合同のあいさつ運動を実施したい。
- ・地域学校園内の地域コーディネーターが定期的な打合せを行い、ボランティアを共有したい。
- ・小学校の行事や授業に中学生がボランティアとして参加することや、中学校文化祭に小学生やその保護者も参観できるようにしたい。
- ・地域学校園内の小学校の保護者が他校を見学して互いを知り、PTA 同士もつながる必要がある。将来は同じ中学校の保護者になる。



2 お知らせ

○次号では、特色ある活動や先進的な取組を実施している地域協議会を紹介します。こちらから取材のお願いをすることがありますが、その際にはご協力をお願いいたします。また、「是非、うちの地域協議会を紹介してほしい」という皆様の情報もお待ちしております。（連絡先：生涯学習課（632-2651）まで）